

## 船舶事故調査報告書

平成24年3月29日  
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

委員 横山 鐵 男（部会長）  
委員 庄 司 邦 昭  
委員 石 川 敏 行  
委員 根 本 美 奈

事故種類	火災
発生日時	平成23年5月11日 00時40分ごろ
発生場所	長崎県五島市奈留漁港（大林地区） 五島市所在の奈留島港笠松F防波堤灯台から真方位090° 600m付近 （概位 北緯32° 48.46′ 東経128° 56.52′）
事故調査の経過	平成23年5月11日、本事故の調査を担当する主管調査官（長崎事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 L×B×D、船質 機関、出力、進水等	漁船 <sup>よしえい</sup> 吉栄丸、19.87トン NS2-15448（漁船登録番号）、個人所有 16.27m（Lr）×3.43m×1.42m、FRP ディーゼル機関、漁船法馬力数160、昭和53年8月3日
乗組員等に関する情報	船長 男性 57歳 一級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定 免許登録日 昭和53年11月17日 免許証交付日 平成20年1月25日 （平成25年4月7日まで有効）
死傷者等	なし
損傷	全損
事故の経過	本船は、船長ほか1人が乗り組み、長崎県佐世保市の相浦港佐世保魚市場で水揚げを終え、平成23年5月10日19時10分ごろ奈留漁港（大林地区）に帰港し、船尾を岸壁に向けて船尾着けの際船に右舷着けで係留したのち、19時15分ごろ乗組員2人が帰宅して無人となった。 地元住民は、11日00時40分ごろ、本船が燃えているのを見付けて消防署に通報した。 本船は、到着した地元消防団により放水による消火活動が行われ、01時54分ごろ鎮火したが、02時10分ごろ沈没した。
気象・海象	気象：天気 雨、風向 南南西、風力 2、視程 約500m 海象：潮汐 上げ潮の末期
その他の事項	本船は、中央に操舵室、その船尾方に機関室、機関室の船尾方に後部船室がそれぞれ配置され、後部船室の右舷壁には、船尾灯、作業灯等のスイッチが設けられていたが、他に電気設備は設けられていなかった。 後部船室の船尾灯等のスイッチへは、24V電源が機関室に設置された蓄電池から操舵室の船内電源スイッチ、機関室右舷壁及び後部船室右舷壁に設備された電気配線を経て給電されていた。

	<p>本船は、引揚げ後に調査されたところ、後部船室が全焼し、機関室後部が焼損していた。</p> <p>後部船室の電気配線は、絶縁被覆が焼損して心線が露出しており、機関室の電気配線は、同室後部側のものに一部焼損が認められた。</p> <p>船長は、本船を離船する前に船内電源スイッチを切らなかった。</p> <p>本船は、船長が約20年前に中古で購入したものであるが、購入以来、電気工事会社等による電気配線の点検が行われていなかった。</p>								
分析	<table border="1"> <tr> <td>乗組員等の関与</td> <td>なし</td> </tr> <tr> <td>船体・機関等の関与</td> <td>あり</td> </tr> <tr> <td>気象・海象の関与</td> <td>なし</td> </tr> <tr> <td>判明した事項の解析</td> <td> <p>本船は、奈留漁港（大林地区）に無人で係留中、後部船室から出火したことから、火災となったものと考えられる。</p> <p>本船は、後部船室の電気配線が経年劣化により短絡等を生じて火花が発生したことから、同配線の被覆が発火し、他の可燃物に延焼して後部船室から出火した可能性があると考えられる。</p> </td> </tr> </table>	乗組員等の関与	なし	船体・機関等の関与	あり	気象・海象の関与	なし	判明した事項の解析	<p>本船は、奈留漁港（大林地区）に無人で係留中、後部船室から出火したことから、火災となったものと考えられる。</p> <p>本船は、後部船室の電気配線が経年劣化により短絡等を生じて火花が発生したことから、同配線の被覆が発火し、他の可燃物に延焼して後部船室から出火した可能性があると考えられる。</p>
乗組員等の関与	なし								
船体・機関等の関与	あり								
気象・海象の関与	なし								
判明した事項の解析	<p>本船は、奈留漁港（大林地区）に無人で係留中、後部船室から出火したことから、火災となったものと考えられる。</p> <p>本船は、後部船室の電気配線が経年劣化により短絡等を生じて火花が発生したことから、同配線の被覆が発火し、他の可燃物に延焼して後部船室から出火した可能性があると考えられる。</p>								
原因	<p>本事故は、夜間、本船が、奈留漁港（大林地区）に無人で係留中、後部船室の電気配線が経年劣化により短絡等を生じて火花が発生したため、同配線の絶縁被覆に延焼したことにより発生した可能性があると考えられる。</p>								
参考	<p>今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 電気設備は、定期的に絶縁抵抗測定等の点検を行うこと。</li> <li>・ 離船する際は、船内電源スイッチを切ること。</li> </ul>								